

(様式第 11 号) (第 14 条関係)

令和 4 年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	「地域 ICT クラブ」設立事業
団体名 (連絡先)	みんなとつくるまち軽井沢
総事業費	285,706 円 (うち補助金 : 142,000 円)

事業内容

「軽井沢 ICT クラブ」を立ち上げて、総務省が実施する地域 ICT クラブ*に加入した。

町内の小中学生を対象に、計 9 回の軽井沢 ICT クラブを実施した。内容は主に 3 種で、1) はんだづけでのコンピューターづくり、2) 作成したコンピューターでのプログラミング講座、3) 外部講師を招いてのデータサイエンス講座である。

*「地域 ICT クラブ」とは：学校外でも子供たちがプログラミングに慣れ親しむことができるように、地域で児童生徒と地域住民が一体となって、地域課題解決等をテーマにプログラミング等の ICT 活用スキルを学び合う活動です。(総務省 WEB サイト「地域 ICT クラブについて」より 最終アクセス：令和 5 年 3 月 25 日)



【はんだづけ講座の様子】

【目標・ねらい】

- (事業全体) 町内児童生徒への学習機会の創出、および地域住民の交流の場づくり
- (本年度) 運営ノウハウの構築と地域住民に活動の認知を広げる

事業効果

本年度目標に対して、運営スタッフの技術の向上や運営上の注意点の把握、クラブ参加者募集チラシの学校配布による各家庭への「軽井沢 ICT クラブ」活動の周知を行うことができた。事業全体のねらいである「学習機会」に対しては、子どもたちにとって新しい技術を学ぶ楽しい学習機会となり、教科学習への意欲向上の傾向が見られた。「交流」については、1) 子ども同士の学校の枠を超えた異年齢の交流、2) 保護者と運営スタッフの交流、3) 幅広い年代・背景による運営スタッフ間の交流、と軽井沢 ICT クラブをきっかけに会話が生まれ、新たな交流が起こった。

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

「軽井沢 ICT クラブ」の運営による IT 活用スキルをコンテンツとしたつながりの場づくりを継続する。本年度の事業実施で得た知見を活かして、学習効果の最大化や実施体制の強化に取り組む。加えて、「地域住民の交流の場づくり」を意識して、特定のテーマにこだわらずに「まちづくり」に関心や接点を持てるよう、広く住民が参加できるまちづくりボードゲームを遊ぶ会を実施する。まちづくりワークショップで上がったアイデアや解決策を軽井沢 ICT クラブで実現をするような結びつきを考えていきたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。